

参加費
無料

医療・介護シンポジウム

2025年に向けた地域包括ケアと 高齢者の生活を支えるまちづくり

〈主催：連合北海道〉

今、政府は、団塊の世代が75歳を迎える2025年を展望し、「地域完結型」の医療と介護の再編をめざそうとしています。

それに伴い、病院・病床機能の分化や地域包括ケアシステムの構築に向け、自治体の役割を強化し、地域の関係者・住民が連携・協働して、高齢者の生活を支えるまちづくりをどのように取り組むかが課題となります。社会保障・税一体改革による消費税率引き上げに対して、道民・納税者・利用者の理解を得るためにも、自分の住むまちで必要な医療・介護・子育て基盤が整備され、安心して暮らせるまちづくりに向けた政策・制度の実現が欠かせません。

シンポジウムでは、「地域包括ケアシステム」を具体化する上での課題や、地域住民・利用者、サービス提供者（行政・医療・介護）の立場から、医療と介護の連携に向けたそれぞれの役割と課題について理解を深めるとともに、安心して暮らせる地域づくりに向けた方策を探ります。



日時 2014年6月8日(日) 13:00～16:10

(12時30分受付開始)

場所 ホテルポールスター札幌 2階「ポールスターホール」

札幌市中央区北4条西6丁目 TEL011-241-9111

プログラム

13:00 開会

13:10 基調講演 「2025年を見据えた医療・介護の政策課題と展望」(仮題)

講師/政策研究大学院大学教授 島崎 謙治 氏

14:10 パネルディスカッション

テーマ/2025年に向けた地域包括ケアと高齢者の生活を支えるまちづくり(仮題)

シンポジスト・島崎 謙治 氏(政策研究大学院大学教授)

※医療・介護制度改革論議の動向ならびに課題と展望

・徳田 禎久 氏(北海道病院協会理事長)

※地域包括ケア構築に向けた道内の医療・介護提供体制の現状と課題

・渡辺みはる 氏(ケアマネジャー、協会病院労働組合洞爺支部 執行委員長)

※地域包括ケアと医療・介護連携の課題を現場から報告

・大竹 雄二 氏(北海道保健福祉部地域医療推進局地域医療課長)

※北海道における地域医療ビジョンと地域包括ケアの推進方策

コーディネイター 坪田 伸一 連合北海道総合政策局長

16:10 閉会

お問い合わせ先 連合北海道(総合政策局) 011-210-0050

